

バンノー A/B

JAIA F★★★★/4VOC 基準適合

万能だからバンノー

酸にも強い

湿った下地にも貼れる

特長

- A剤とB剤を1：1で混ぜるだけ！万能タイプのエポキシ接着剤です。
- 各種セラミックタイル、ガラスモザイク、各種石材、鉄、木材、ほとんどのものが接着可能です。
- イタリータイル等の重量タイルも貼れます。
- モルタル、合板、各種ボード類以外にもガラス、鉄板、PC板への直貼りもできます。
- 既に貼ってあるタイルの上にもタイルを貼ることができます。（タイルオンタイル）
- 多少湿った下地の上にも使用でき、特にお湯に強く浴槽やプールの内側にも使えます。
- 混合後は白くなり、白目地の場合、はみ出しが目立ちません。
- 耐薬品性、耐蝕性、耐候性が良好です。

適用タイル

各種セラミックタイル、大型タイル、ガラスモザイク、大理石等の石材（要プライマー処理）

適用場所

台所、トイレ、洗面所、一般浴室、業務用浴室、内装の壁、床等

適用下地

モルタル、スレート、合板、珪カル板、ALC板、鉄板、ステンレス板、ガラス板、タイル、FRP（Aプライマー処理） ※FRP防水には使用できません。

LINE UP

- A剤10kg+B剤10kg 缶 (20kg)
【1ケース】1セット
- A剤5kg+B剤5kg 缶 (10kg)
【1ケース】2セット入り ※バラ売り可
- A剤250g+B剤250g チューブ (500g)
12セット入り【1ケース】 ※バラ売り可



特性

■性状

	A剤（主剤）	B剤（硬化剤）
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン
外観	淡青色ペースト	淡赤色ペースト
混合後の外観	白色ペースト	
混合割合	A剤：B剤 = 1：1	
塗布後の貼付け	40分以内（23℃） ※温度、下地等の条件で異なります。	

■接着強さ試験結果

【単位：N/mm²】

試験項目	バンノー接着強さ	JIS規格
標準状態	1.95	0.6以上
熱劣化	2.44	0.3以上
低温硬化	1.69	0.3以上
温水	1.21	0.3以上
アルカリ水	1.25	0.3以上

使用方法

【下地】

下地は平滑に仕上げ、汚れやレイトンスを取り除いてください。下地の養生時間は2週間以上とってください。合板ボード類は下地が動かないようにしっかり固定してください。濡れた下地には使用しないでください。

【混合】

A 剤（淡青色）と B 剤（淡赤色）を1：1の割合（重量比）で取り出し、色が均一（白色）になるように、ヘラやハンドミキサーを用いて良く練り合わせます。また、取り出すヘラは A 剤用、B 剤用と別々にしてください。
※混合が充分でない場合、強度不足、シミ出し、臭気が残ることがあります。
※高速ハンドミキサーを使用すると気泡により接着剤の強度が極端に落ちる恐れと、発熱して石材がダレる恐れがありますので使用しないでください。

【石材の貼付の場合】 使用量：2.0~5.0 kg / m²

石材の裏側の埃やよごれは取り除いてください。

200 角石材

下地に均一にコテ塗り後、5 mmクシ目ゴテを用いて掻き取る。

直ちに石材をもみこむように貼付け、ゴムハンマーでたたいて高さや位置を水系に合わせます。

400 角石材《ダンゴ貼り》

図のように400角石材の裏に直径50mm 高さ20mmの接着剤のダンゴを5箇所つけます。下から貼付け、ゴムハンマーでたたいて高さや位置を水系に合わせます。

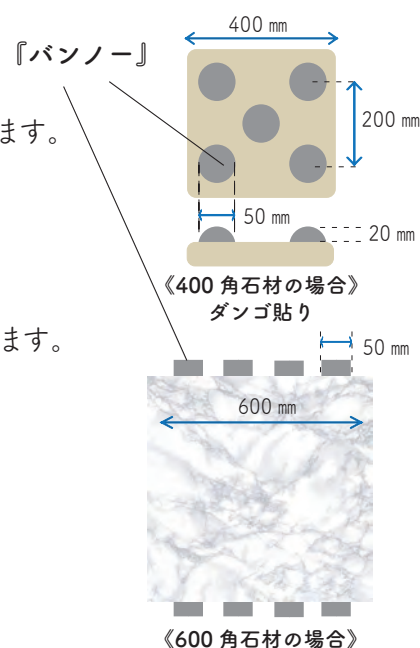
目地を取るには目地巾のスペーサー又は釘をします。

600 角石材

接着剤を下地縦方向に、巾50mmの山脈のように塗布します。600角では4本筋になります。

直ちに石材を貼付け、ゴムハンマーで、たたいて高さや位置を水系に合わせます。

600角厚み20mm以上の重い石材には、金具を併用してください。



【タイルの貼付の場合】 使用量：1.2~2.0 kg / m²

金鏝で下地にすり込むように塗布し、3 mmまたは5 mmクシ目鏝でかき取ります。

直ちにタイルを1枚1枚よくもみ込むように充分圧着してください。

また、時々タイルを剥がして、接着面積が60%以上あることを確認してください。

※使用量は下地の状態、タイルの裏足の深さ、重量によって変えてください。

※当社以外のプライマーのご使用はお控えください。接着力を妨げる可能性があります。

使用上の注意

- A 剤 B 剤を缶から取り出すときは、必要な量だけ取り出してください。
- 取り出すヘラは A 剤用 B 剤用、別々にしてください。
- A 剤と B 剤の混合攪拌は充分に行ってください。
不十分な場合、硬化不良、シミ出し、臭気が残る等の事故を起こす恐れがありますので注意してください。
- 可使時間、貼付可能時間は混合容器、混練量、温度等によって変わります。
石材・タイル貼付は A 剤 B 剤を混合後 40 分以内 (23℃) に行ってください。また、練置きはしないでください。
- 施工は 5℃以上の環境で行ってください。低温でも出来ませんが、硬化が遅くなる恐れがあります。
- タイルの表面や道具類の汚れは最初のうちは水洗い出来ますが、
1~2 時間後はシンナー等で洗い落とししてください。硬化後は洗い落としが出来なくなります。
- 人によってはかぶれが出る場合があります。直接皮膚に触れないように保護具を付けてください。
- もし接着剤に触れてしまった場合は直ちに石鹼水で良く洗い流してください。
- 作業場の換気には十分に注意してください。
- 浴槽やプールの内側にも使用出来ますが、硬化後、使用する前に充分水洗いをしてください。
- 他社のプライマーと併用される場合は接着不良を起こす可能性があります。
- カタログの内容は実験室のデータを元に作成しています。現場の施工状況によってはカタログ値と異なる場合もございます。確実に施工を行うためにも施工前に確認テストをお勧めします。
- ご使用前には必ず安全データシート (SDS) をお読みください。

